

事業名	アマノリ養殖概況(増養殖技術研究)
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当)笠井謙太郎
共同研究機関等	

<目的>

本県のアマノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり育苗～本養殖が開始されたが、食害等の影響により秋芽網の生産は不調であった。さらに本養殖開始後はケイ藻の発生により漁場の栄養塩が減少し、色落ち被害が発生した。特に県南漁場では1月中旬以降色落ちによる生産不調が顕著であった。

令和2,3年度の徳島県漁連共販数量の経月変化を図1に、年度別の共販数量と平均単価の推移を図2に示した。2月以降は、北部漁場ではやや栄養塩が回復したため生産が持ち直したが、県南漁場では色落ちが継続し、不調のまま終漁となった(図1)。

令和3年度漁期の生産枚数は20,515千枚で数量は前年を下回ったものの、前年と比較して色落ちの程度が小さかったことから平均単価は8.83円/枚と前年比112%と上昇した(図2)。

<今後の課題>

得られたデータから不作原因を推定し、養殖指導の材料とする必要がある。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

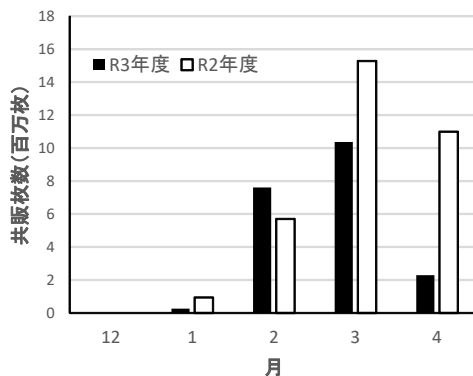


図1. 共販枚数の経月変化

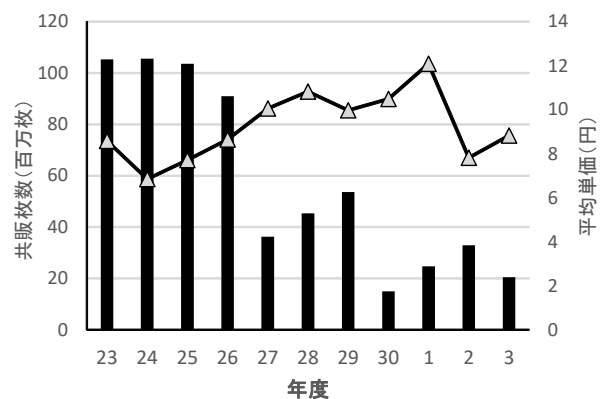


図2. 年度別共販数量と平均単価の推移